

無料!

必ず受けましょう! ピロリ菌検査!

-----「郵送検診」なら、自宅で、ご都合のいい時にできます!-----

ピロリ菌とは?

胃に住む細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃・十二指腸潰瘍や胃がんをひきおこすことが解明されています。



検査結果が「陽性」だったら?

検査結果が「陽性」だからと言って、胃潰瘍や十二指腸潰瘍が必ず発症するわけではありません。しかし、**ピロリ菌除菌の治療を行うことで、潰瘍の再発防止、胃がん発症のリスクが低下するなど、胃の状態改善が期待できます。**



☆☆除菌治療は、年齢が若いほど効果的!☆☆

ピロリ菌除菌の方法は?

2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬を朝晩2回、1週間服用します。副作用が起こる場合もありますが、おおむね症状は軽く治療が終われば治まります。

胃がん予防としてのピロリ菌治療!

ピロリ菌除菌治療は、胃・十二指腸潰瘍などに加え、「胃炎」にも健康保険が適用され、除菌しやすい環境が整ってきています。
(ただし、保険適用のためには内視鏡による確認が必須です。)

受診後も安心!

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう

メスブ細胞検査研究所まで

お気軽にお問い合わせください

TEL 075-231-2230 (平日9:00~5:00)
FAX 075-211-7400
メール mail@msc-kyoto.co.jp

検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介します。

紹介状の作成(無料)もしていますので、お気軽に検査機関にお問い合わせください。



検査機関:メスブ細胞検査研究所 TEL (075)231-2230 HP <http://www.msc-kyoto.co.jp/>

【注意事項】
・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。要精密、陽性の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。